

(様式6-3)

研修等 報告書

令和4年 5月 17日

三田市議会議長

北本 節代 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	日本維新の会三田	代表者	印
		議員名	
参加者氏名	小山裕久		
講演会など研修名	<ul style="list-style-type: none">・スポーツ庁の政策紹介、及びスポーツ産業の発展の可能性・スポーツで女性アスリートがもっと強く、もっと輝くために・デジタルトランスフォーメーション時代の教育方法論・GIGA スクール構想による教育の質の向上		
研修事項	<ul style="list-style-type: none">・ JAPAN SPORTS WEEK 2022・ 教育 IT ソリューション EXPO		
日 時	令和4年5月10日(火)16時～ 12日(木)21時		
場 所	東京ビックサイト		
所 見	別紙に記載		
添付資料	<ul style="list-style-type: none">・ 当日の写真・ 会場案内、・ 入場者バッチ		

添付書類（講演会内容のパンフレット等）

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。（代表者名、参加者氏名は不要）

令和4年5月11日水曜日 JAPAN SPORTS WEEK2022 に出席しましたので所見をのべさせていただきます。

今回、日本最大級のスポーツチーム・アスリート向けの総合展としてスポーツ関係各社約120社が出展し、開催の理念として「勝利」「マネタイズ」につながる見本市としてスポーツ業界に貢献する、とのことで開催されました。私は昨年行われました、東京オリンピック・パラリンピックの後、スポーツを通じたスポーツ地域マネジメントについて、過去より大変興味と感心をもっておりましたので、招待を頂き、業界のトップランナーの方々の講演を聴く機会とスポーツ業界が出展されている最新の製品・サービスを比較検討またその場で実製品を「見て」「体験」させていただきました。

基調講演として、「スポーツ庁の政策紹介、及びスポーツ産業の発展の可能性」の題でスポーツ庁長官、室伏広治氏より、我が国におけるスポーツにビジネスの要素を取り組み、欧米諸国のような巨大産業として成長させるためにはどのような方策があるのか、スポーツ団体と企業との連携、DX時代における新しいビジネスモデルの創出など、スポーツの成長産業化を目指した取り組みなどを、スポーツ庁、その先頭にたつ長官として、またご本人のオリンピック選手からの経験と東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会ディレクターの立場からこれからのスポーツのさらなる発展にむけ熱く語られました。

また「スポーツにおける女性活躍」としてバルセロナ、アトランタオリンピック、女子マラソンメダリスト、スペシャルオリンピックス日本理事長の有森裕子氏より、近年は国内スポーツだけでなく世界の舞台でも女性アスリートの活躍が目覚ましい、一方、月経などの女性特有の健康問題、心理面、栄養面でのトラブルや悩みが大きな課題とされている。今後の女性アスリートのさらなる活躍と、最適なスポーツ環境確保には何が必要か、そのためには指導者、運営側が知っておかなければならない事などをお話いただきました。

三田市においても、少子高齢化や人口減少をすこしでも食い止めなければならない問題だと思っておりますが、安易な補助金などで、他地域からの差別化を図り人口減少を食い止めことは、私は得策だと思いません、しそれは根本的解決にならないでしょう。三田市しかない魅力を発信できる何か、それを色々考えてきました。東京や大阪の中心部には無い環境という魅力を三田市でどのように発展、発信していくか、今回の総合展に参加させていただき、スポーツの持つ可能性、スポーツの価値を高め、地域経済の起爆剤となりえるスポーツツーリズムに対して、スポーツ・観光・文化を反映したスポーツでの街づくりについてヒントをいただきました。そのチャンスは、歴史があり、観光、美味しい食べ物、広大な土地がある三田市においては、有望なチャンスがあると感じられました。

以上

小山 裕久

令和4年5月12日木曜日 教育 IT ソリューション EXPO に参加いたしましたので所見を述べさせていただきます。

新学習指導要領の開始により子ども達だけでなく、学校、教育委員会、塾予備校、教育関係者全てが急速に変化している状況を踏まえ、タブレット PC、電子黒板などの ICT 機器、プログラミング教育必修化への対応、グローバル化への対応、テレワーク対応、大学改革など、教育関係者が今、知っておくべきテーマに関する製品やサービスなど約320社が集まり、業界第一人者によるセミナーも行われ、文部科学省、経済産業省の後援もある総合展でした。

私は多くの講演がある中、「DX 時代の教育」としてデジタル・トランスフォーメーション時代の教育方法論～何をどのように教えるべきか～として独立行政法人日本学術振興会顧問・内閣 AI 戦略実行会議座長、安西祐一郎氏の講演と、GIGA スクール構想による教育の質の向上として「GIGA スクール構想の実現」として全国の学校における児童生徒一人一台端末環境の整備等を進め、今年度から学校現場における本格的活用が始まっている経緯いやその進捗状況、GIGA スクール構想の今後の展開について文部科学省 初等中等教育局修学支援・GIGA スクール推進チームリーダー（情報教育振興室室長）水間玲氏の講演を受けました。

私は近年のデジタル改革は社会生活はもとより、子ども達の教育の内容と方法が抜本的に転換されたと考えております、今までの知識、技能、思考力、判断力、表現力の意味、が変化しており、知識・技能＝学力とはならなくなっている、デジタル技術を使うことで知識として知っていなくとも、デジタルの力を使う事で、表現力に長けておれば、自分の知識として発揮できることから、これからの教育方法、考え方が変わってきていると感じます。教育関係者はデジタル・トランスフォーメーション時代の教育、実践のしかたを研究することが大切ではあるが、私は議員という立場から、今の日本が直面している、社会情勢の変化、コロナ渦、国際情勢を含め、日本の子ども達の貧困率が示すように、デジタル改革により知識、努力が大切な要素だけではなく、これからは新しいデジタル機器、デジタル環境を持つものが極めて有利になる、すなわち今まで以上に貧富の差により、教育の不平等が生まれるのではないかと考えており、これは教育現場ではなく、極めて政治の力が必要な分野でありこれからの教育を注視して見ていくことが大切な活動だと考えております。今回の総合展に参加させていただき、最新のデジタル・トランスフォーメーションは勉強させていただきましたが、これからの教育の課題が明確に知りうることができました。今後、三田市の子ども達のために活かしていきたいと思っております。

以上 小山 裕久